

シンクライアント革命

SASTIK[®] III Thin-Client Layer

～SASTIKが選ばれる理由～

株式会社サスライト



はじめに

情報保護の重要性と、コンプライアンス強化の流れから、サーバ側でデータを守るシンクライアントがますます注目されています。しかし、そのコストや導入の面でハードルが高く、シンクライアント導入に二の足を踏んだり、導入を諦めた法人様が多いのも事実です。

SASTIK III Thin-Client Layerは、コスト、導入、利便性の面で従来のシンクライアントシステムのハードルを1/10に下げ、シンクライアントシステムを諦めた法人様、これからシンクライアントシステムの導入をご検討されている法人様に対し、ベストソリューションを提供いたします。

是非とも本資料をご高覧の上、導入をご検討いただければ幸いです。

シンククライアントのメリット

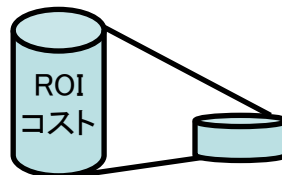
情報漏洩の防止



サーバ側でデータを守るため、情報漏洩の危険性を最小限にできます。情報保護の必要性がさげられる昨今、シンククライアントシステムはますます注目を集めています。

データ一元管理による 運用・管理コストの削減

サーバ側をセキュアに保つだけでセキュリティが確保できるので、運用・管理コストの削減ができます。



仕事環境持ち運び

どこからでもアクセスできる環境構築も可能なので、テレワークや出張の多い業務でも効率をおとさない労働環境が築けます。



メリットは十分わかっている。
しかし、

シンククライアントをためらう理由

- 1、コスト負担が大きい
- 2、導入に手間がかかりすぎる。
- 3、利便性が悪い

コスト革命

導入革命

利便性革命

SASTIK III Thin-Client Layerが、
シンククライアントのハードルを1/10にします。

SASTIKが選ばれる3つの理由

1 コストの革命

コスト革命

既存のPCもサーバもそのまま有効活用。トータルコスト1桁削減を実現します。

2 導入の革命

導入革命

サーバ1台導入するだけで、既存システムがたちまちシンクライアント環境に。

3 利便性の革命

利便性革命

社内でも、外出先でも、自宅でも、USB型キーを挿すだけで自分の仕事環境に。

1 コストの革命

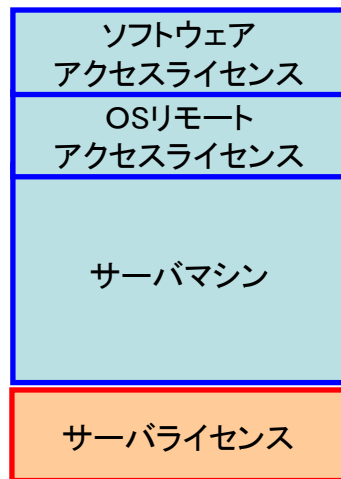
従来のシンクライアントと比べてコストが1/10に

コストを1/10に

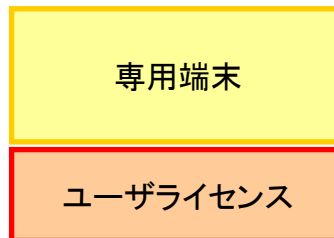
SASTIK III Thin-Client Layerでは、既存のPCを仮想シンクライアントとして使用するため、専用端末が必要なく、さらにサーバ側で演算処理をする必要がないため、従来型のシンクライアントに比べコストを1/10にいたします。

従来型シンクライアント

20万円～40万円/ユーザ



サーバ側



クライアント側

SASTIK III Thin-Client Layer

約3万円/ユーザ



サーバ側



クライアント側

2 導入の革命

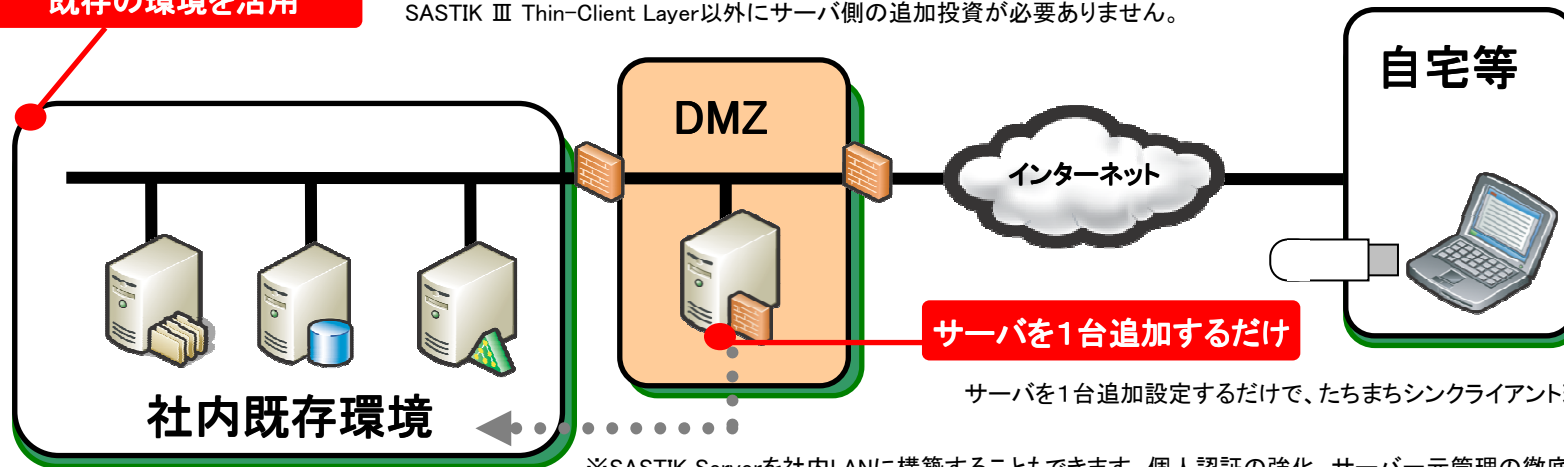
導入の手間が1/10に。サーバ1台導入するだけで、即席シンクライアント

導入の手間が1/10に

低工数、低価格、短期間での構築が可能

既存の環境を活用

既存のファイルサーバ、メールサーバ、WEBサーバ等をそのまま利用できるため、SASTIK III Thin-Client Layer以外にサーバ側の追加投資が必要ありません。

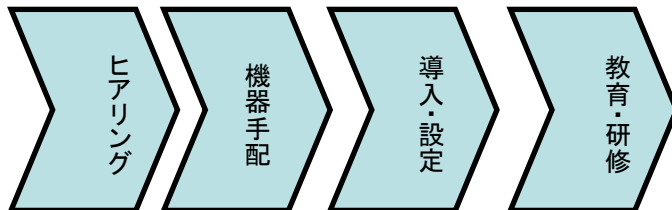


サーバを1台追加するだけ

サーバを1台追加設定するだけで、たちまちシンクライアント環境が構築可能です。

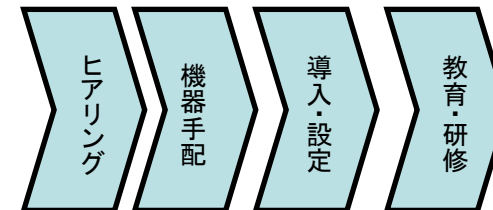
従来型シンクライアント

平均で半年～1年



SASTIK III Thin-Client Layer

平均で3週間 ※最短で1週間～2週間



3 利便性の革命

社内でも、外出先でも、自宅でもキーを挿すだけで自分の仕事環境に

使いやすさが10倍に

SASTIKでは、専用のUSBキーを挿すだけで既存のPCをそのままお使いいただけるので、これまでと同じ使用感でご利用いただけます。また、USBキーを持ち運ぶだけで、どこでも使えるので、シンクライアントの持つ可搬性を最大限に活用できます。

従来型シンクライアント

認証セキュリティは別途検討する必要がある

システムを利用によりどれだけセキュリティ性が向上したところで、システムを利用する際の認証部分のセキュリティが堅牢でないという意味がありません。

専用端末またはクライアント側に設定が必要

これまでのシンクライアントでは、システムを利用する際に、専用端末、もしくはクライアントにソフトウェアの設定が必要でした。特定の端末からしか使用できないため、利用シーンが制限されます。また、専用端末の場合通常のPCとは使用感が異なる場合があります。



SASTIK III Thin-Client Layer

挿すだけスタート

弊社取得の特許技術【USB自動起動】を用いた、USBキーで認証をするため、挿すだけで、ハードウェアとパスワードによる二因子認証ができ、確実な本人認証を行います。

抜くと終了

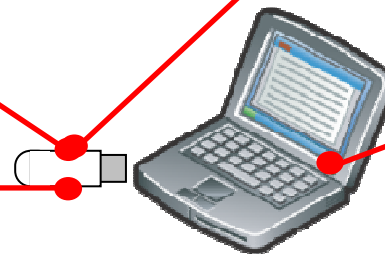
USBキーを抜くと自動的に機能を終了します。ログアウト忘れによる情報漏洩の心配がありません。

設定不要のため、USBキーを持ち運ぶだけでどこでも使える。

SASTIKを使い始める際に、PC側にもUSBキー側にも設定は全く必要ありません。そのため、既存のシンクライアントが特定の端末に縛られるのに対し、SASTIKでは、USBキーを持ち運ぶだけでどこでも使用できます。

これまでのPCの使い勝手はそのまま

SASTIKはハード、ソフトとも既存のものをそのまま流用することが可能なため、使い勝手もそのままです。

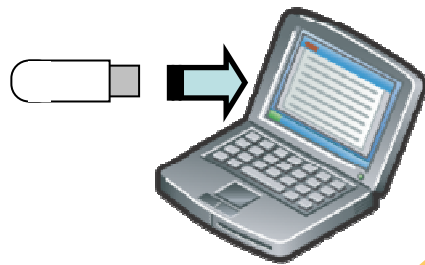


SASTIK III Thin-Client Layer

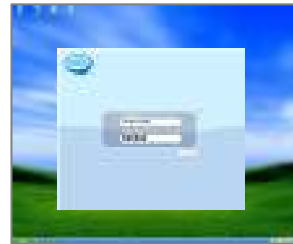
ハードルを1/10に、利便性を10倍に

利用イメージ

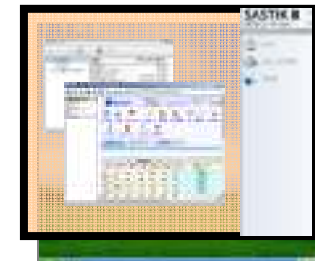
① USBキーを挿すとスタート



② 二因子認証

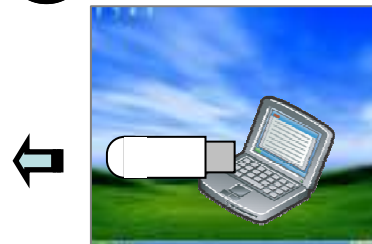


③ 作業は全てシンクライアントレイヤー領域上



※仮想シンクライアント化

④ USBキーを抜くと、終了。
シンクライアントレイヤー領域ごと消去し、
痕跡が残りません。



基本機能

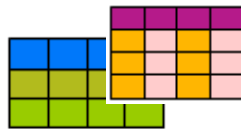
かゆいところに手が届く基本機能

暗号化通信



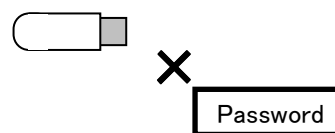
標準で暗号化通信が使えるため、通信が傍受され、そこから情報が漏れるという危険がありません。

監査ログ



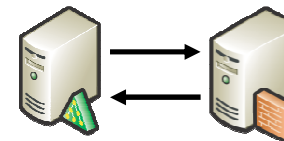
SASTIK Serverに、ログが残るため誰が、いつ、どういう操作をしたのか、証跡をおうことができます。

二因子認証



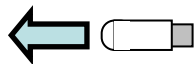
ハードウェアとパスワードによる認証で、確実な個人認証を実現。なりすましを防ぎます。

AD/LDAP連携



AD/LDAPとの連携ができるので、既にこれらのディレクトリサーバを使用されている場合、IDとパスワードを一元的に管理できます。

自動終了



使用を始めるのと同様に重要なが、終了作業です。せっかくのセキュリティも機能を終了しないまま放置してしまっは意味がありません。SASTIKは抜くだけで自動的に機能を終了するので、安全です。

特許技術USB自動起動

AUTORUN

弊社取得の特許技術USB自動起動によって、PC側にも、USBキー側にも事前の設定なく、挿すだけですぐに使い始められます。

グループ機能



SASTIK Serverでグループの設定ができます、これにより、管理者が使わせたい機能のみを、使わせたいユーザに使用させることができます。

管理画面GUI

GUI

SASTIK Serverの設定・操作ができるWEBのGUIをご用意しております。そのため管理が簡単です。

御社のお悩みを解決します

ハードルが1/10に。だから、広がる利用シーン

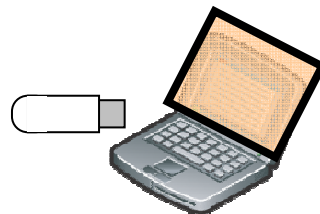
テレワーク(在宅勤務)



自宅でも、情報漏洩が起こらず安全に仕事ができるので、テレワーク環境が構築できます。ワークライフバランス改善に劇的な効果を発揮いたします。企業価値向上とともに、社員の労働意欲向上をはかることが可能です。

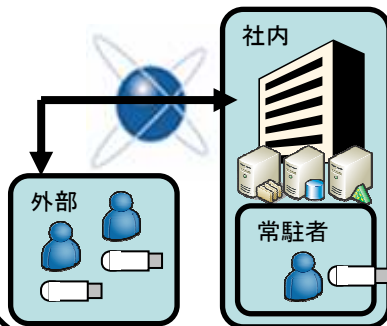
ノートPC紛失

シンククライアント化



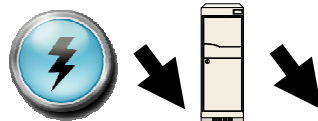
既存のノートパソコンも挿すだけでシンククライアント化して使えるので、モバイルシンククライアントとして使用できます。ノートPC紛失等による情報漏洩を防ぎます。

常駐者・出向者・外注先に安全な業務環境を



外部からでも安全に仕事ができる環境を構築できるので、業務を委託している外注先や、社内常駐者・出向者に社内のシステムを安全に使用させることができます。業務効率向上が可能です。

消費電力削減、資源の浪費削減



これまでのシンククライアントと違い、接続先のPCや巨大なサーバを常に起動させておく必要がありません。また、サーバ構成もシンプルなので、サーバ自体安価でかつ少数で済みます。

動作環境

サーバ

対応OS

Linux

Red Hat Enterprise Linux Version 4 update 7

Red Hat Enterprise Linux Version 5 update 4

(VineLinux, WhiteboxLinux, CentOS等でも動作実績がございます)

※64bit版は現在非対応です。

ハードウェアスペック目安(Linux OSの場合)

※ 500名程度での利用を想定

CPU	Xeon(R) 3/5/7xxxシリーズ 推奨
メモリ	4GB以上 推奨
HDD	3GB(プログラム) ※アクセスログのDB格納領域に別途ハードディスク容量が必要となります。 ※ユーザー人当たり最低5MB程度のハードディスク容量が必要になります。
ネットワーク	GbitLAN 推奨

クライアント

対応環境

WindowsXP(SP3以上)/VISTA/Windows7

Microsoft Internet Explorer 6(SP1以上)~8

解像度800×600ピクセル 16bit(High Color)以上推奨

※Microsoftのサポート対象製品が対象となります。

※64bit版は現在非対応です。

ハードウェア

DOS/V PC/AT互換機(OADG仕様) ※USB1.1以上搭載機

[CPU] IntelPentium4 プロセッサ以上を推奨

[HDD] 最低10MB以上の空き容量(OSが利用する以外の部分として)

[Memory]各OSの推奨メモリに準じます

※ブラウザに関するメモリ使用量は閲覧しているページに依存します。

その他

ネットワーク接続環境(ブロードバンド環境推奨)

上記は、2010年7月15日現在の情報です。予告なく変更される場合がございますので、予めご了承ください。

また、導入構成によって変更となる場合がありますので、最新情報及び詳細につきましては、当社営業またはサポートに随時お尋ねください。

お問合せ

シンククライアント革命

株式会社サスライト 企画営業部

TEL:03(5275)0123

FAX:03(5275)0124

Email:info@saslite.com

<http://www.saslite.com>